

平成 23 年度子ども読書活動に関するアンケート調査結果(概要)

1 調査の目的

子どもをとりまく読書環境の現状や、「香川県子ども読書活動推進計画」における努力目標の達成状況を把握し、今後の方策に生かすために実態調査を行った。

2 調査方法

(1) 調査対象

原則として、初回の平成 15 年度調査で対象とした保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の幼児・児童生徒

【初回平成 15 年度調査の対象校等の抽出方法】

- ・地域、児童生徒数、学科等のバランスを考慮して、学校等を無作為に抽出
- ・抽出された学校等では、各学年ごとに 1 ないし 2 学級を無作為に抽出

(2) 調査人数

2, 889 人

－内訳－

幼児（3～5 歳） 547 人（5 保育所、6 幼稚園）

小学生（1～3 年生） 615 人（8 校）

小学生（4～6 年生） 658 人（8 校）

中学生 598 人（7 校）

高校生 471 人（5 校）

(3) 調査時期

原則として平成 23 年 6 月 1 日（水）～7 日（火）

(4) 実施方法

① 幼児（3～5 歳）及び小学生（1～3 年生）は保育所等から調査用紙を家庭に持ち帰り、保護者が回答した。

② 小学生（4～6 年生）、中学生、高校生は、調査対象となった学級ごとに担任が立ち会って一斉に実施した。

3 調査結果の概要

(1) 本を読むことが好きな幼児・児童・生徒の割合

(%)

	幼児(3～5歳)	小学生(1～3年生)	小学生(4～6年生)	中学生	高校生
好 き	65	48	47	37	45
どちらかといえば好き	32	40	38	42	34
計	97	88	85	79	79

本を読むことが好きな子どもの割合は全ての年代で昨年度に比べて増加し、特に中高生では過去最も高い割合となった。

(2) 5月の一ヶ月間に読んだ本の平均冊数、読んだ本

幼児・小学生においては調査開始時から順調な伸びを示し、過去最も多い冊数となった。一方中高生では調査開始時から年度によって若干の増減はあるものの、中学生が4.3冊(2.1冊増)、高校生が2.6冊(1.0冊増)と少しずつ読書量が増えていることがうかがえる結果となった。

また、読んだ本については調査開始時から大きな変化はなく、幼児では『アンパンマン』や『ノンタン』など、小学生では『かいけつゾロリシリーズ』や『怪談レストランシリーズ』が定番となっているようである。中高生ではベストセラーや映画化した本、ライトノベルなどがよく読まれている。

(3) 家庭での読書頻度

(%)

	幼児(3~5歳)	小学生(1~3年生)	小学生(4~6年生)	中学生	高校生
ほぼ毎日読んでいる	27	24	22	13	9
週に3回以上読んでいる	27	26	30	14	11
週に1回くらい読んでいる	32	34	22	18	14
計	86	84	74	45	34

家庭で週1回以上本を読んでいる割合は、幼児では平成15年度の調査開始以降、85%以上の高い割合で推移しており、小学生では1~3年生が84%、4~6年生が74%となり、調査開始後最も高い割合となった。

中高生についても課題はあるものの、読書習慣が順調に定着していることがうかがえる結果となった。

(4) 本を選ぶときに主にどこで手に入れるか

幼児や小学生では主に学校などの図書室や地域の図書館で借りているが、中高生になると本屋などで購入するという割合が高くなっている。

(5) 幼児への読み聞かせ頻度

ほぼ毎日読んでいる	週に3回以上読んでいる	週に1回くらい読んでいる	計
19%	23%	36%	78%

週に1回以上読み聞かせを行っている割合は78%となり、調査開始時から大きな変化はないものの7割を超える高い割合で推移している。

また、読み聞かせを行っているのは圧倒的に母親が多いが、約40%の父親も読み聞かせに参加するなど、家族みんなで読書を楽しんでいる様子が見られる。

(6) 図書館にあったらいいなと思う本

ほぼ全ての年代で設問2の「1ヵ月間で読んだ本」と似た順位となっていた。

(7) 子ども読書活動の推進についての自由意見(幼児、小学生1~3年のみ)

幼児・小学生の保護者ともに読書の大切さは認識しているが、忙しくなかなか家庭で読書の時間をとれないが、そのような中、『23が60読書運動』が読書を意識、実践する良いきっかけになっているという意見が多かった。

平成 23 年度
子ども読書活動に関するアンケート調査結果

平成23年10月

香川県教育委員会
生涯学習・文化財課

1. 本を読むことが好きな幼児・児童・生徒の割合

幼児と小学生（1～3年生）では、それぞれ97%（昨年度比1ポイント増、88%（同4ポイント増）と、年度によって若干の上下はあるが、調査開始の平成15年度から非常に高い割合で推移している。また、小学生（4～6年生）は85%（同1ポイント増）、中学生79%（同5ポイント増）、高校生79%（同1ポイント増）となっており、平成15年度と比べると、小学生（4～6年生）8ポイント増、中学生15ポイント増、高校生13ポイント増と、本を読むことが好きな子どもの割合が大幅に増えている。

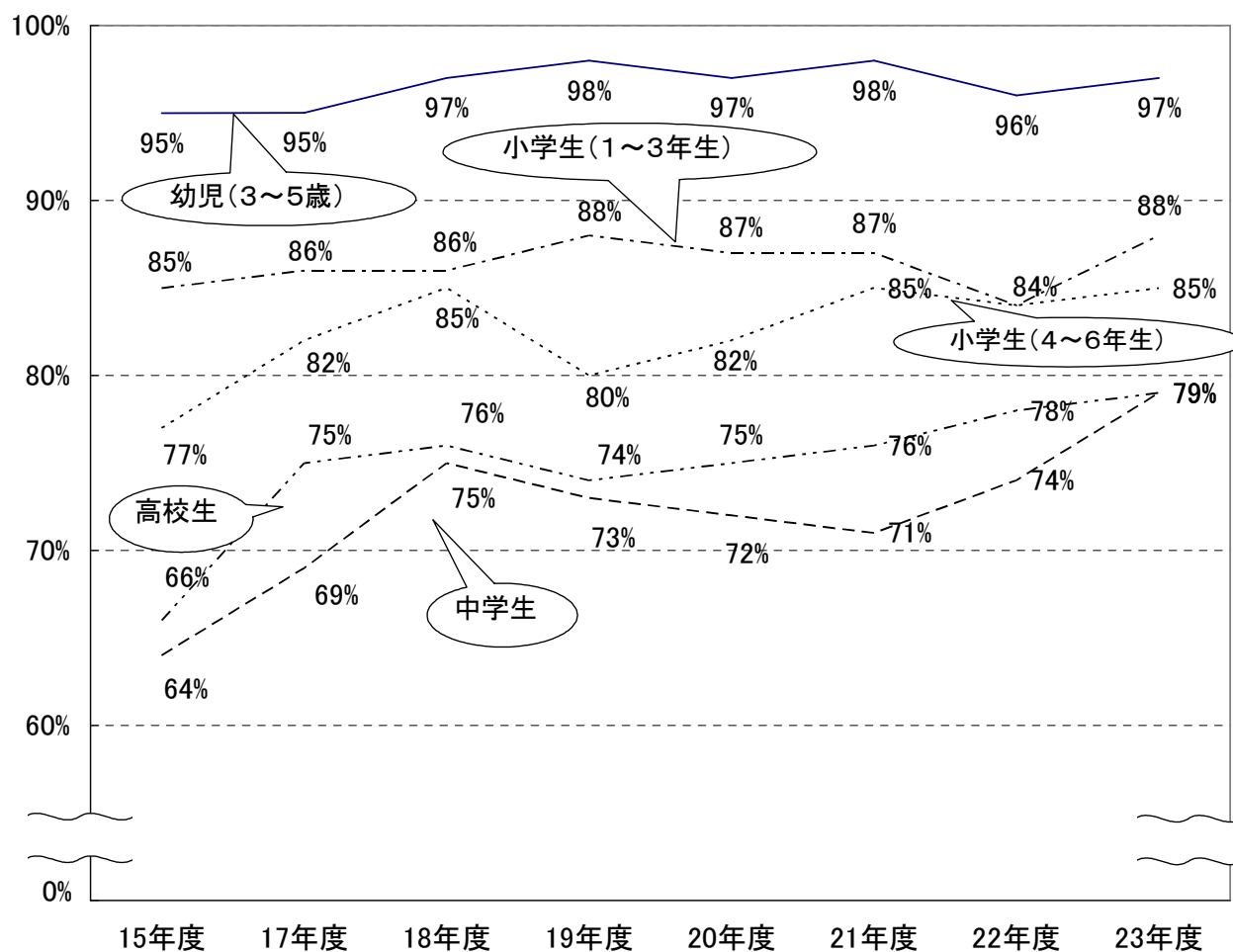
（問）あなた（あなたのお子さん）は、本を読むことが好きですか。〈読み聞かせを含む〉

本を読むことが好き・どちらかといえば好きな子どもの割合（読み聞かせ含む）

平成23年度

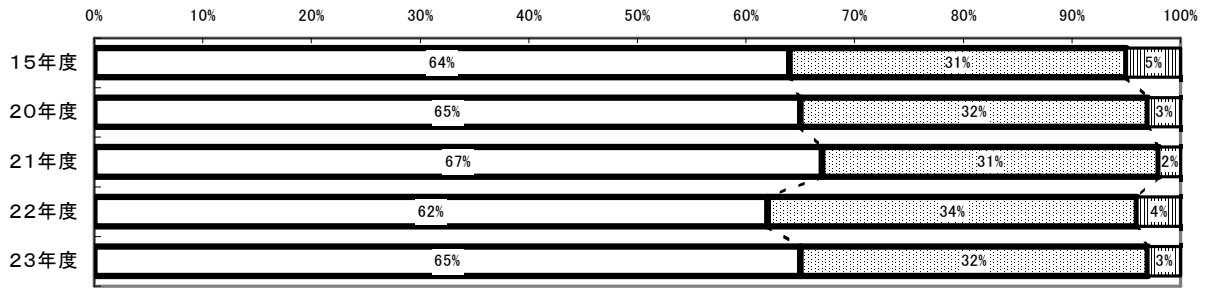
(%)

	幼児(3～5歳)	小学生(1～3年生)	小学生(4～6年生)	中学生	高校生
好き	65	48	47	37	45
どちらかといえば好き	32	40	38	42	34
計	97	88	85	79	79

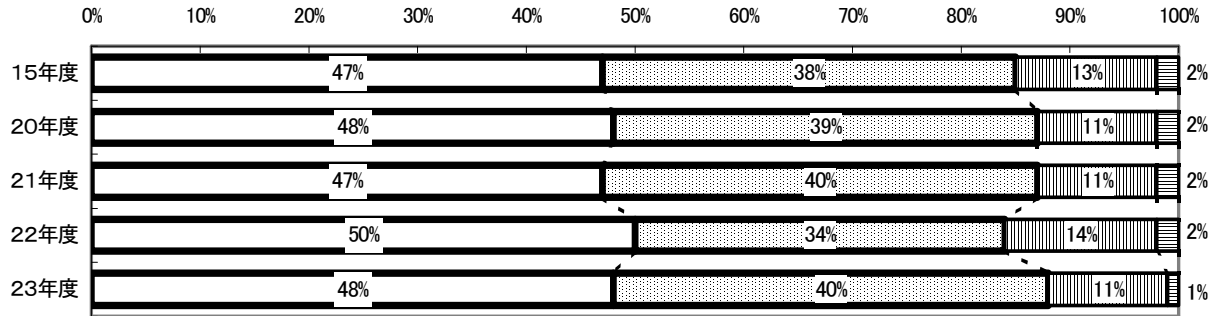


幼児(3~5歳)

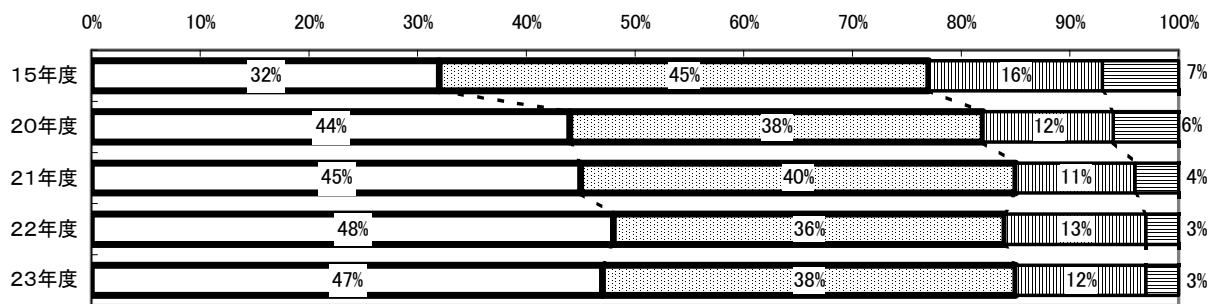
■好き □どちらかといえば好き ▨どちらかといえば嫌い □嫌い



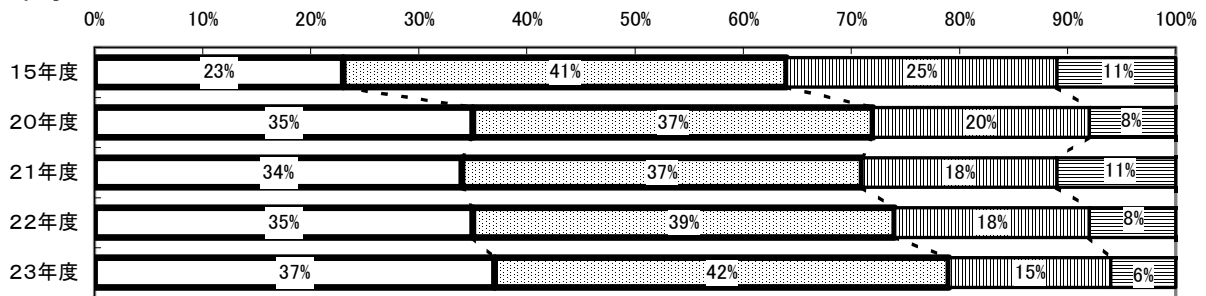
小学生(1~3年生)



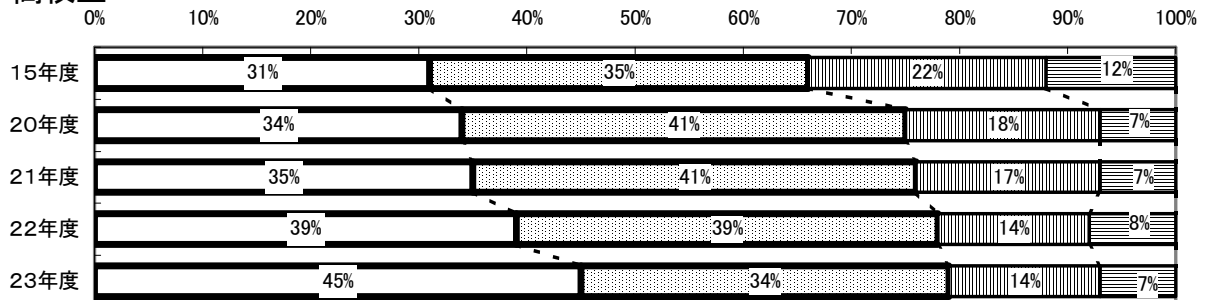
小学生(4~6年生)



中学生



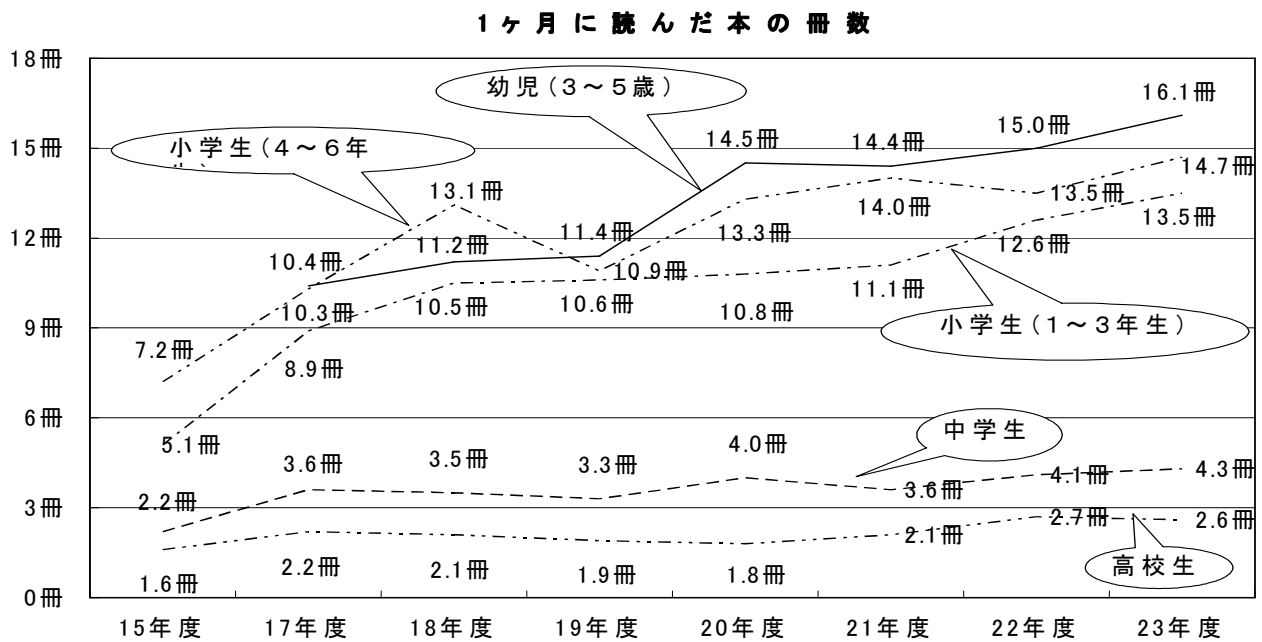
高校生



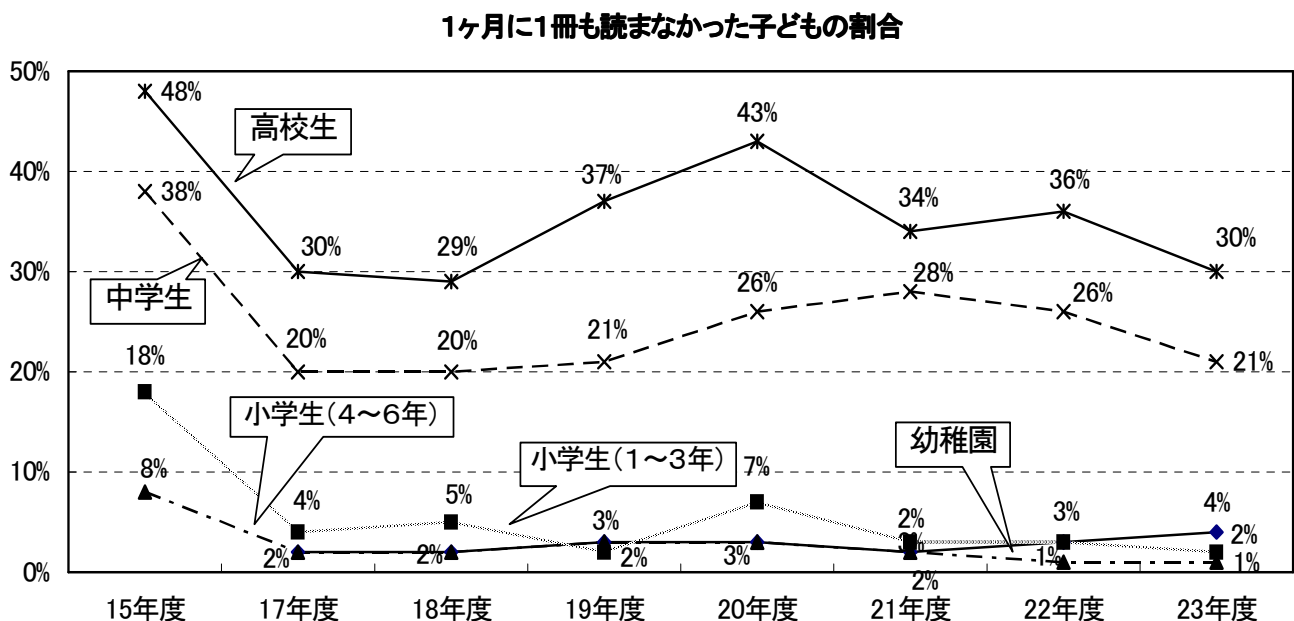
2-1. 5月の1ヶ月間に読んだ本の冊数

「5月1ヶ月間に読んだ本の平均冊数」は、幼児、小学生においては、調査開始の平成15年度から順調な伸びを示し、過去最も多い冊数となった。一方、中・高校生においては、高校生が昨年度と比べ、0.1冊減の2.6冊、中学生が0.2冊増の4.3冊、また、「1ヶ月に1冊も読まなかった割合」は高校生で6ポイント減の30%、中学生が5ポイント減の21%と年度によって若干の上下はあるが、少しずつ読書量が増えていることがうかがえる結果となった。

(問) あなた（あなたのお子さん）は、平成23年5月の1ヶ月間に、何冊くらい本を読みましたか。〈読み聞かせを含む〉

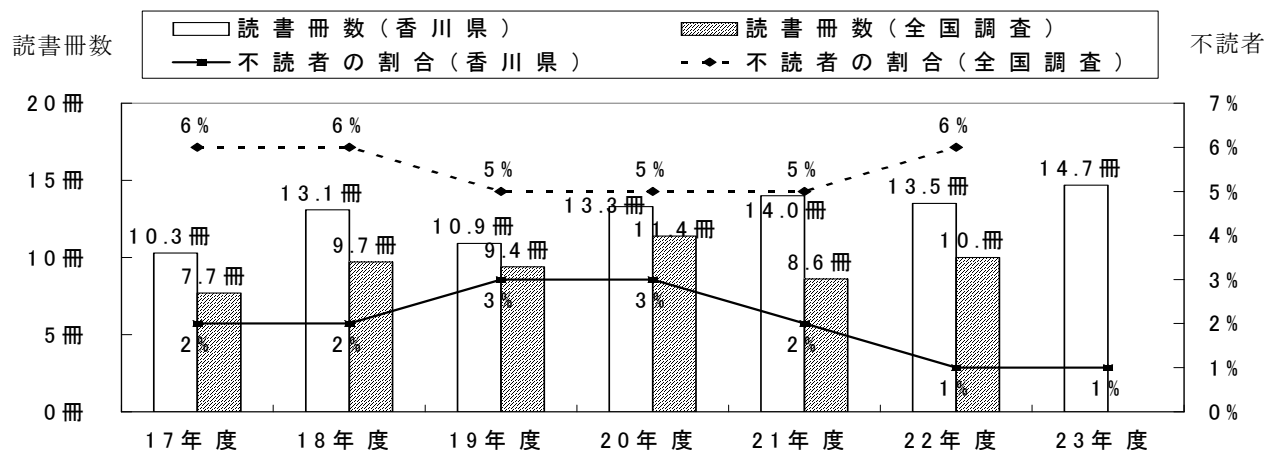


※15年度調査は、読み聞かせを含んでいないため、幼児のデータはない。

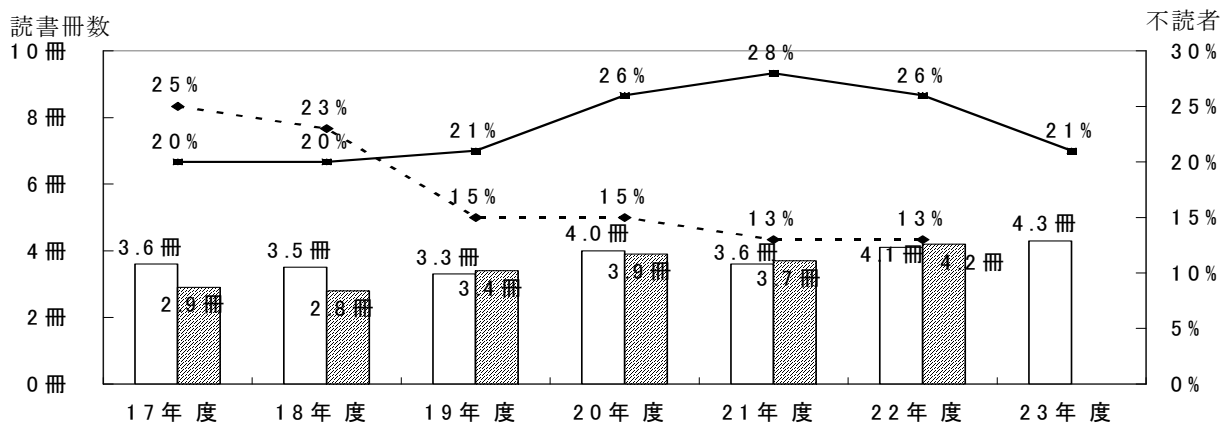


(参考) 全国調査との比較：「5月1ヶ月間に読んだ本の平均冊数」と「不読者の割合」

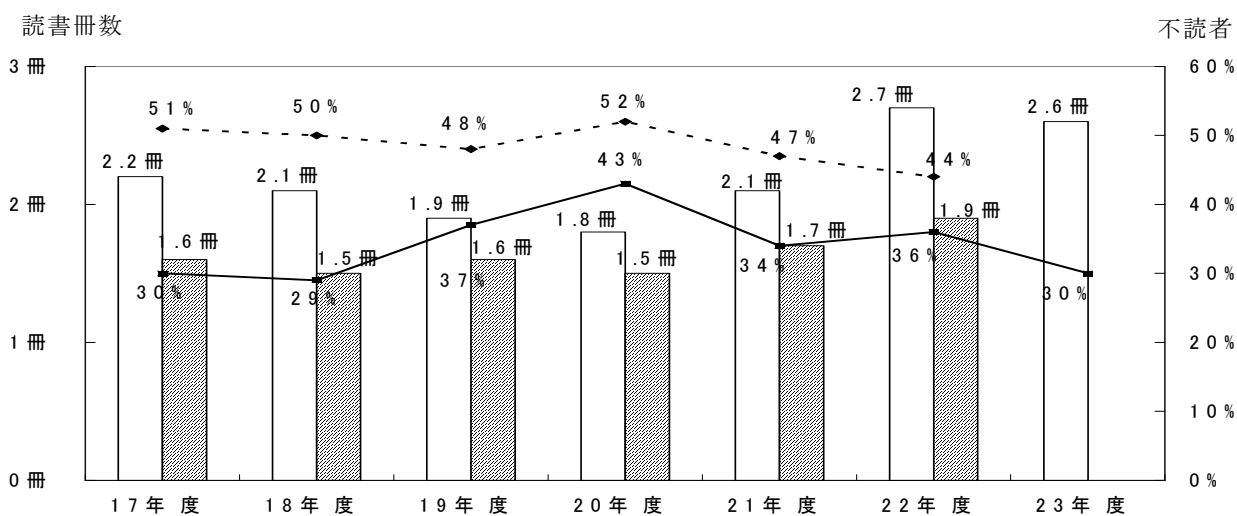
小学生（4～6年生）



中学生



高校生



2-2. 1ヶ月間に読んだ本ベスト5

幼児では、調査開始の15年度からランクインする本に大きな変動がなく、特に「アンパンマンシリーズ」、「ぐりとぐらシリーズ」、「ノンタンシリーズ」は17年度以降常にランクインしている。また、今年は調査開始後初めて昔話が1位となり、昔話や名作なども、読み聞かせ等の定番になっている。

小学生では、低学年、高学年ともに、「かいけつゾロリシリーズ」、「怪談レストランシリーズ」が19年度以降必ずランクインし、小学生がよく読む本の定番となっている。

中学生は「日本の歴史シリーズ」が4年連続でランクインしておりよく読まれている。また中・高校生ともにベストセラーや映画化した本、ライトノベルなどの人気が高くなっている。

(問) 5月1ヶ月の間に読んだ本の名前をおぼえているだけ書いてください。〈読み聞かせを含む〉

	順位	書名	実数
幼児 (3～5歳)	1	ももたろう	60
	2	ノンタンシリーズ (きよの さちこ)	44
	3	アンパンマンシリーズ (やなせ たかし)	42
	4	ぐりとぐらシリーズ (なかがわ りえこ)	40
	5	三匹の子ぶた	38
	5	みにくいあひるのこ	38
小学生 (1～3年生)	1	かいけつゾロリシリーズ (原 ゆたか)	113
	2	バムとケロシリーズ (島田 ゆか)	39
	3	ぐりとぐらシリーズ (なかがわ りえこ)	34
	4	100かいだてのいえ (岩井 俊雄)	33
	5	怪談レストランシリーズ (童心社)	27
小学生 (4～6年生)	1	かいけつゾロリシリーズ (原 ゆたか)	216
	2	バムとケロシリーズ (島田 ゆか)	75
	3	100かいだてのいえ (岩井 俊雄)	66
	4	ぐりとぐらシリーズ (なかがわ りえこ)	64
	5	そらまめくんシリーズ (なかや みわ)	47
	5	怪談レストランシリーズ (童心社)	47
中学生	1	日本の歴史シリーズ (小学館、学研ほか)	18
	1	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら (岩崎 夏海)	18
	3	謎解きはディナーのあとで (東川 篤哉)	14
	3	バッテリー (あさの あつこ)	14
	5	怪談レストランシリーズ (童心社)	12
高校生	1	謎解きはディナーのあとで (東川 篤哉)	9
	2	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら (岩崎 夏海)	8
	2	デュラララ!! (成田 良悟)	8
	4	電波女と青春男 (入間 人間)	6
	4	ハリーポッターシリーズ (J. K. ローリング)	6

問2-2：問2-1で、1冊以上読んだと答えた人は、読んだ本の名前をおぼえているだけ書いてください。（読み聞かせを含む）

	順位	平成15年度	順位	平成17年度	順位	平成18年度	順位	平成19年度	順位	平成20年度	順位	平成21年度	順位	平成22年度	順位	平成23年度
幼児 (3~5歳)	①	ぐりとぐらシリーズ	①	ぐりとぐらシリーズ	①	ノンタンシリーズ	①	アンパンマンシリーズ	①	アンパンマンシリーズ	①	アンパンマンシリーズ	①	ぐりとぐらシリーズ	①	ももたろう
	②	そらまめくんシリーズ	②	ノンタンシリーズ	②	ぐりとぐらシリーズ	②	ぐりとぐらシリーズ	②	ぐりとぐらシリーズ	②	ぐりとぐらシリーズ	②	アンパンマンシリーズ	②	ノンタンシリーズ
	③	アンパンマンシリーズ	③	アンパンマンシリーズ	③	アンパンマンシリーズ	③	ノンタンシリーズ	③	ノンタンシリーズ	③	ノンタンシリーズ	③	三匹の子ぶた	③	アンパンマンシリーズ
	④	ももたろう	④	ももたろう	④	三匹の子ぶた	④	そらまめくんシリーズ	④	バムとケロシリーズ	④	そらまめくんシリーズ	④	バムとケロシリーズ	④	ぐりとぐらシリーズ
	⑤	三匹の子ぶた	⑤	三匹の子ぶた	⑤	そらまめくんシリーズ	⑤	14ひきのシリーズ	⑤	三匹の子ぶた	⑤	ねずみくんシリーズ	④	ノンタンシリーズ	⑤	三匹の子ぶた
小学生 (1~3年生)	①	かいけつゾロリシリーズ	①	かいけつゾロリシリーズ	①	かいけつゾロリシリーズ	①	かいけつゾロリシリーズ	①	かいけつゾロリシリーズ	①	かいけつゾロリシリーズ	①	かいけつゾロリシリーズ	①	かいけつゾロリシリーズ
	②	ぐりとぐらシリーズ	②	妖怪レストランシリーズ	②	忍たま乱太郎シリーズ	②	怪談レストランシリーズ	②	怪談レストランシリーズ	②	怪談レストランシリーズ	②	怪談レストランシリーズ	②	バムとケロシリーズ
	③	ハリーポッターシリーズ	③	ぐりとぐらシリーズ	③	ねずみくんシリーズ	③	ももたろう	③	ひみつシリーズ	③	へんしんシリーズ	③	ぐりとぐらシリーズ	③	ぐりとぐらシリーズ
	④	忍たま乱太郎シリーズ	④	ねずみくんシリーズ	④	ぐりとぐらシリーズ	④	しずくちゃんシリーズ	④	ねずみくんシリーズ	④	ひみつシリーズ	④	そらまめくんシリーズ	④	100かいだてのいえ
	⑤	白雪姫	⑤	そらまめくんシリーズ	⑤	ミッケシリーズ	⑤	ぐりとぐらシリーズ	④	わかったさんのおかしシリーズ	⑤	バムとケロシリーズ	⑤	ひみつシリーズ	⑤	怪談レストランシリーズ
小学生 (4~6年生)	①	ハリーポッターシリーズ	①	妖怪レストランシリーズ	①	日本の歴史シリーズ	①	怪談レストランシリーズ	①	ひみつシリーズ	①	ひみつシリーズ	①	ひみつシリーズ	①	かいけつゾロリシリーズ
	②	こまったさんシリーズ	②	日本の歴史シリーズ	②	ひみつシリーズ	②	日本の歴史シリーズ	②	日本の歴史シリーズ	②	かいけつゾロリシリーズ	②	怪談レストランシリーズ	②	バムとケロシリーズ
	③	かいけつゾロリシリーズ	③	かいけつゾロリシリーズ	③	かいけつゾロリシリーズ	③	かいけつゾロリシリーズ	③	かいけつゾロリシリーズ	③	怪談レストランシリーズ	③	日本の歴史シリーズ	③	100かいだてのいえ
	④	はだしのゲン	④	ミッケシリーズ	④	トリビアの泉	④	ひみつシリーズ	④	怪談レストランシリーズ	④	日本の歴史シリーズ	④	かいけつゾロリシリーズ	④	ぐりとぐらシリーズ
	⑤	キューリー夫人	⑤	ハリーポッターシリーズ	⑤	三国志	⑤	三国志	⑤	名探偵シリーズ	⑤	名探偵シリーズ	⑤	名探偵シリーズ	⑤	そらまめくんシリーズ
中学生	①	ハリーポッターシリーズ	①	ハリーポッターシリーズ	①	ハリーポッターシリーズ	①	バッテリー	①	バッテリー	①	日本の歴史シリーズ	①	日本の歴史シリーズ	①	日本の歴史シリーズ
	②	指輪物語	②	デルトラクエストシリーズ	②	デルトラクエストシリーズ	②	ハリーポッターシリーズ	①	ハリーポッターシリーズ	②	ハリーポッターシリーズ	②	デュラララ！！	①	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら
	③	ダレン・シャンシリーズ	③	妖怪レストランシリーズ	③	ダレン・シャンシリーズ	③	恋空	①	日本の歴史シリーズ	③	赤い糸	③	バッテリー	③	謎解きはディナーのあとで
	④	三国志	④	日本の歴史シリーズ	④	ダウインチコード	④	デルトラクエストシリーズ	④	恋空	④	バッテリー	④	怪談レストランシリーズ	③	バッテリー
	⑤	シャーロックホームズ	⑤	Good Luck	⑤	ズッコケ三人組シリーズ	⑤	キノの旅	⑤	ホームレス中学生	⑤	血液型自分の説明書シリーズ	④	銀魂(3年Z組銀八先生)	⑤	怪談レストランシリーズ
高校生	①	ハリーポッターシリーズ	①	電車男	①	ダウインチコード	①	恋空	①	バッテリー	①	デモナータ	①	告白	①	謎解きはディナーのあとで
	②	破戒	②	いま、会いにゆきます	②	ハリーポッターシリーズ	②	バッテリー	②	キノの旅	②	バッテリー	②	常野物語	②	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら
	③	It(それ)と呼ばれた子	③	バッテリー	③	あおぞら	③	赤い糸	③	リアル鬼ごっこ	②	日本の歴史シリーズ	②	デュラララ！！	②	デュラララ！！
	④	青の炎(貴志裕介)	④	It(それ)と呼ばれた子	④	天使がくれたもの	④	ハリーポッターシリーズ	④	犬と私の10の約束	④	三国志	④	IQ84	④	電波女と青春男
	⑤	ダレン・シャンシリーズ	⑤	もっと生きたい	⑤	バッテリー	⑤	クリアネス	⑤	ホームレス中学生	⑤	キノの旅	⑤	重力ピエロ	④	ハリーポッターシリーズ
						⑤	東京タワー					④	ぼくたちと駐在さんの700日戦争			

3. 家庭での読書頻度

家で週1回以上本を読んでいる割合は、幼児では昨年度から1ポイント増加し86%となり、高い水準で推移している。また、小学生は、1～3年生 84%(昨年度比3ポイント増)、4～6年生 74%(同4ポイント増)と調査開始の平成15年度以降最も高い割合となっている。19年度以降低調であった中・高校生も中学生が45%(同1ポイント増)、高校生が34%(同6ポイント増)と、引き続き課題はあるものの、回復傾向が見られた。

(問) あなた(あなたのお子さん)は、家でどのくらいの頻度で本を読んでいますか。(読み聞かせを含む)

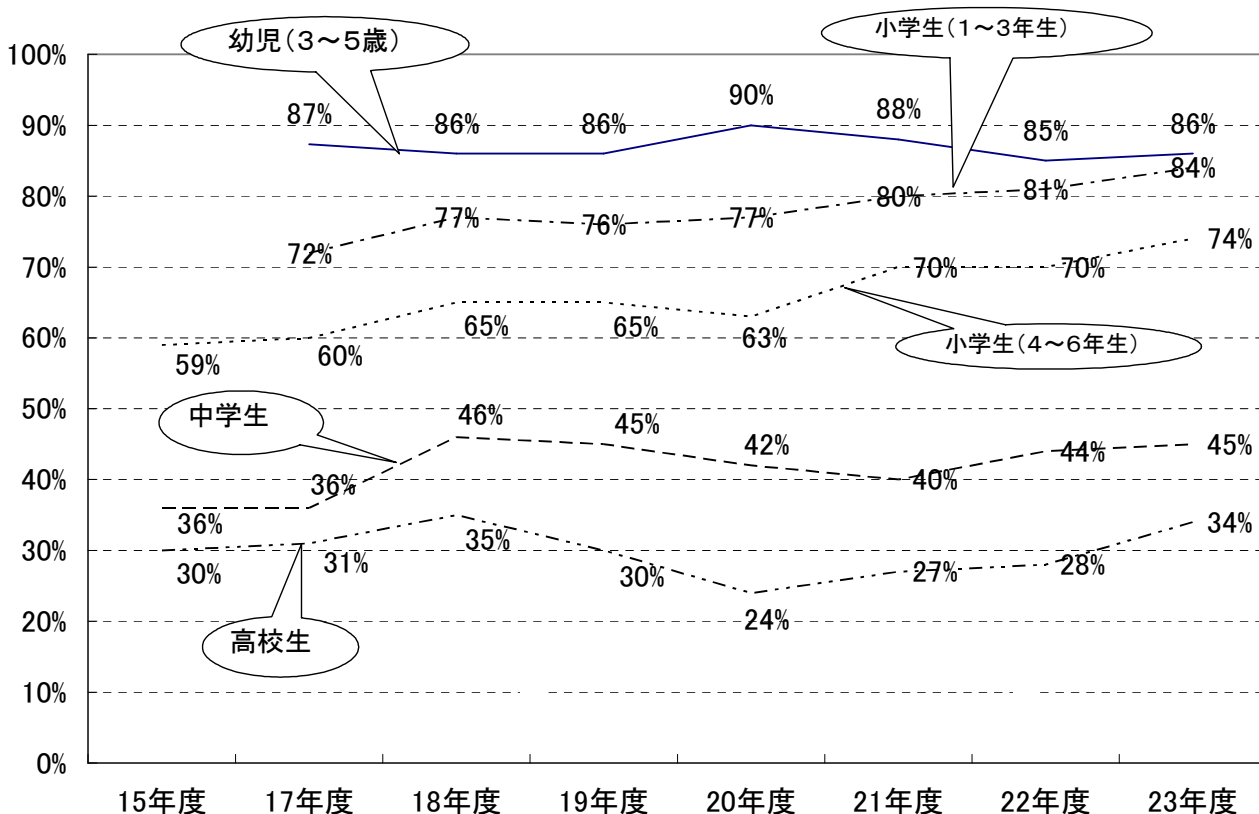
※15年度は、幼児及び小学生(1～3年生)について、調査をしていない。

家で週1回以上本を読んでいる子どもの割合(読み聞かせ含む)

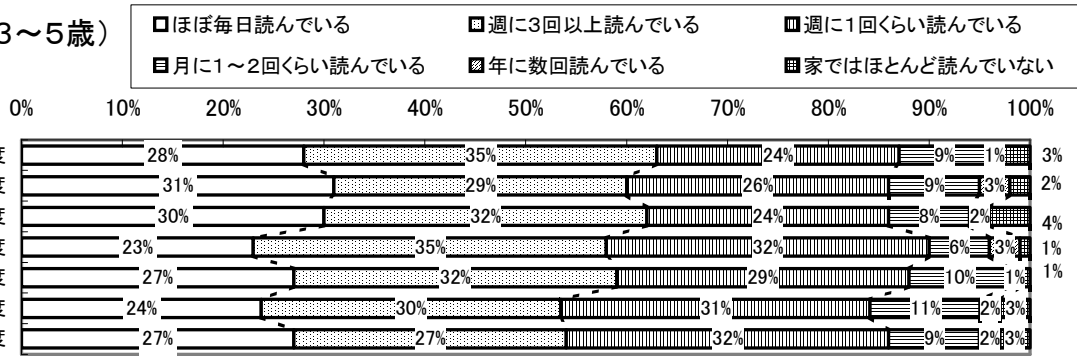
平成23年度

(%)

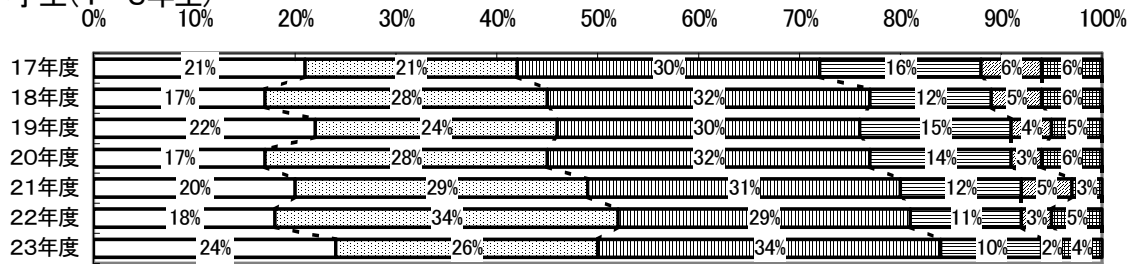
	幼児(3～5歳)	小学生(1～3年生)	小学生(4～6年生)	中学生	高校生
ほぼ毎日読んでいる	27	24	22	13	9
週に3回以上読んでいる	27	26	30	14	11
週に1回くらい読んでいる	32	34	22	18	14
計	86	84	74	45	34



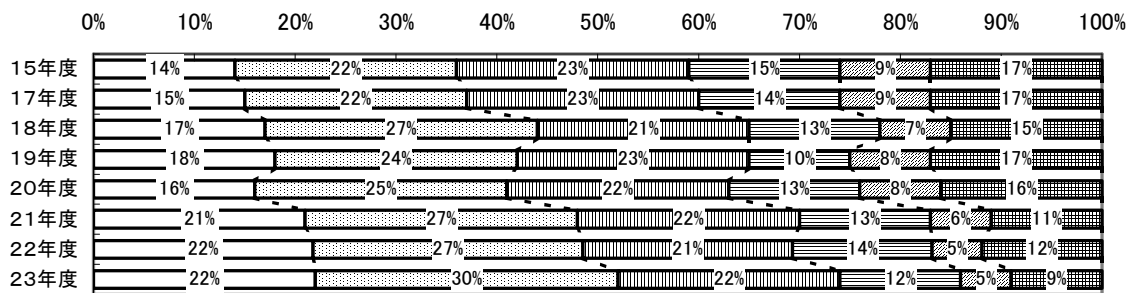
幼児(3~5歳)



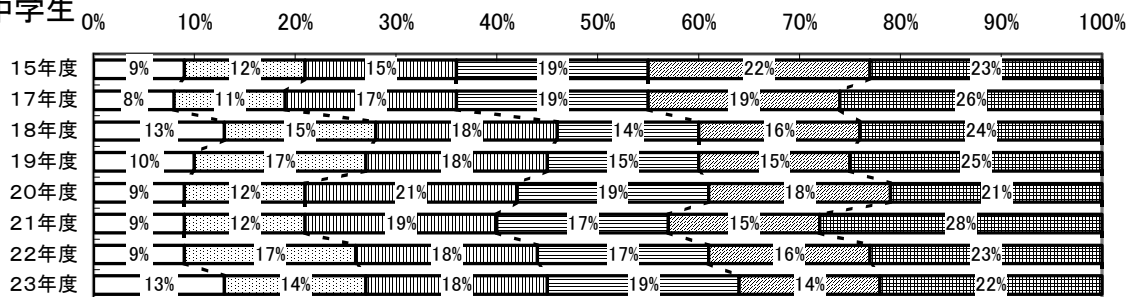
小学生(1~3年生)



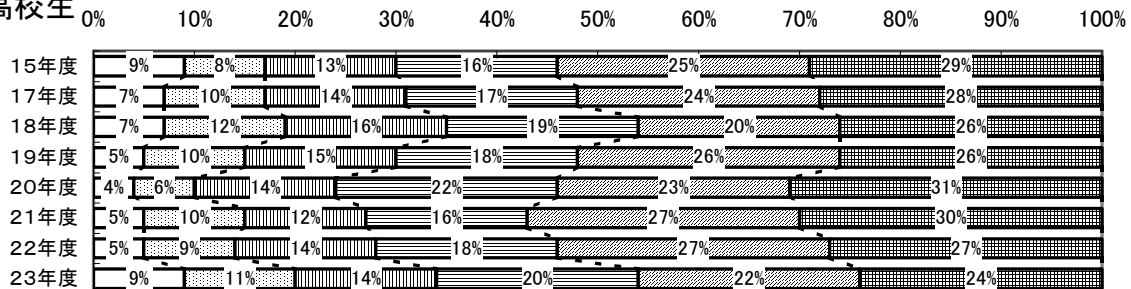
小学生(4~6年生)



中学生



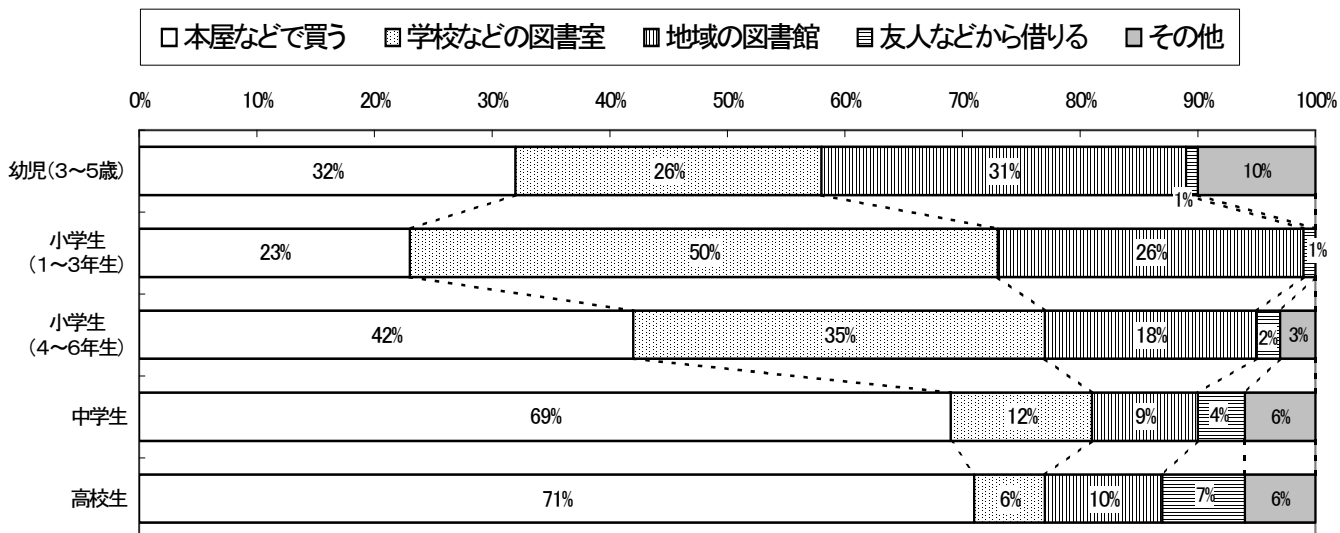
高校生



4. 本を選ぶときに、主にどこで手に入れるか

幼児や小学生では、本を選ぶときに、主に学校などの図書室や地域の図書館で借りるという割合がもっとも高くなっている。しかし、中・高生になると本屋などで購入するという割合が高くなっている。

(問) あなたは本を選ぶときに、主にどこで本を手に入れますか



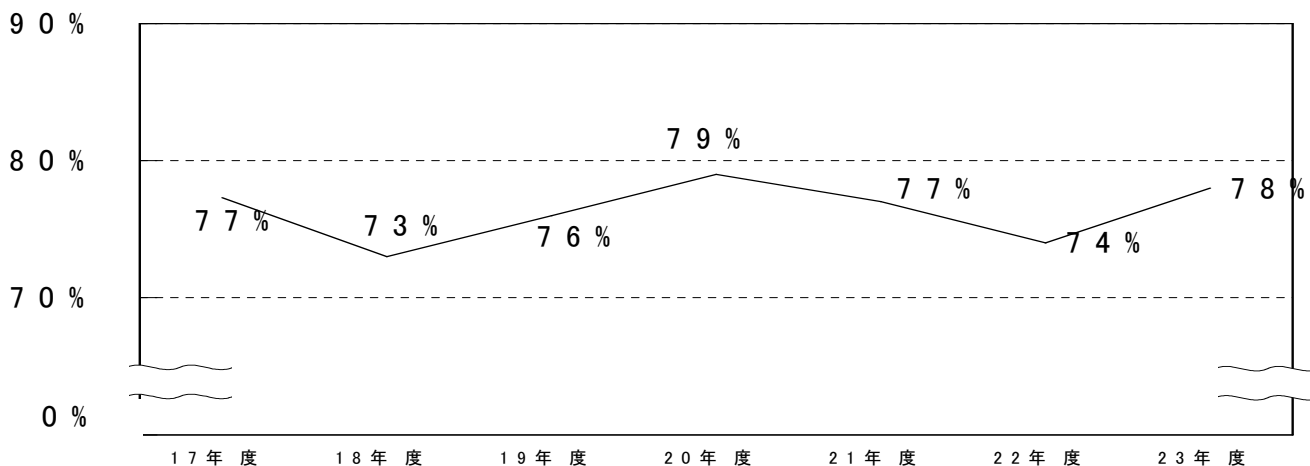
5-1. 幼児への読み聞かせ頻度

週1回以上読み聞かせを行っている割合は、78%となっており、昨年度から4ポイント減増加して調査開始時から7割を超える高い割合で推移している。

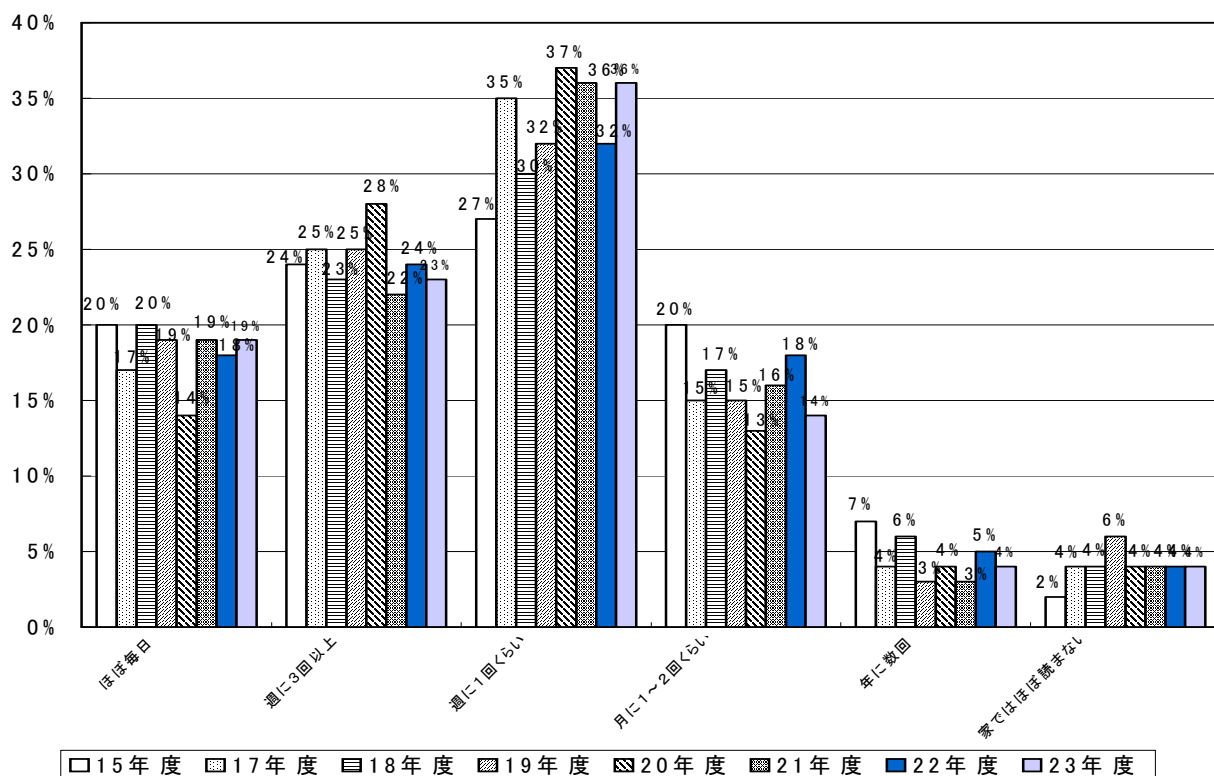
(問) 家庭で、お子さんに絵本等の読み聞かせをどのくらいの頻度でおこなっていますか。

週1回以上読み聞かせを行っている割合

平成23年度			(%)
ほぼ毎日読んでいる	週に3回以上読んでいる	週に1回くらい読んでいる	計
19	23	36	78



家庭での読み聞かせ頻度

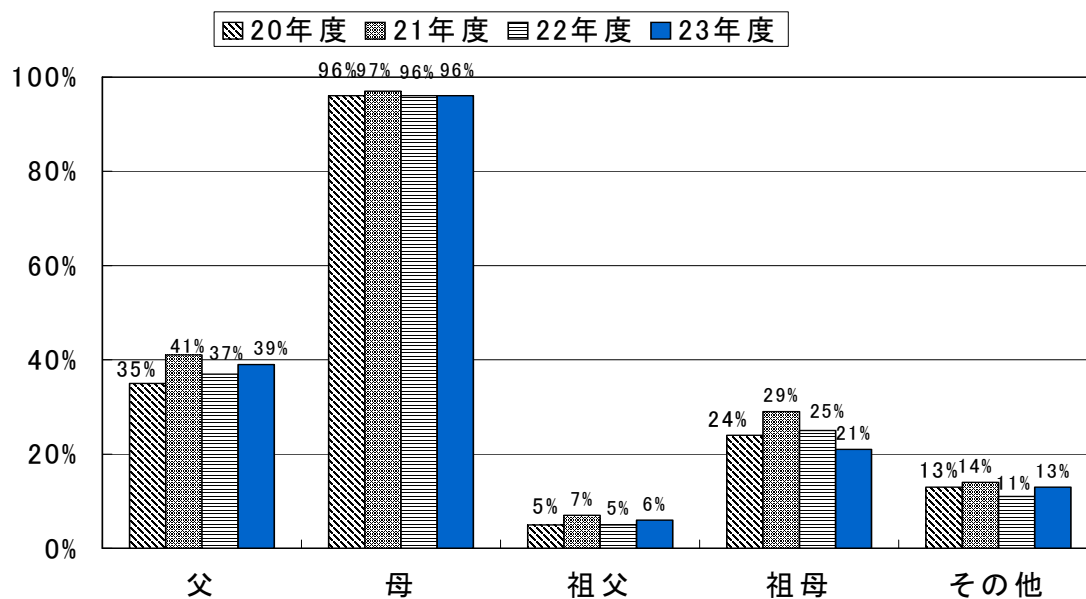


5-2. 読み聞かせをする人

読み聞かせを行っているのは圧倒的に母親が多く 96%の母親が行っている。また、39%の父親も読み聞かせに参加しており、家族みんなで読書を楽しんでいるようである。

(問) 誰が読み聞かせをしていますか。(複数回答可)

誰が読み聞かせをしているか



6. 図書館にあったらいいなと思う本

「図書館にあったらいいなと思う本」については、ほぼ全ての年代で1ヶ月間で読んだ本と似た順位になっている。
中学生以降では映画化した作品やライトノベルのシリーズなどの要望も見られる。

(問) 図書館にあったらいいなと思う本はどんな本ですか。

	順位	書名順 (〇〇さんの本は除く)	著作者順
幼 児 (3～5歳)	1	かいけつゾロリシリーズ (原 ゆたか)	なかや みわ (そらまめくんシリーズ等)
	2	へんしんシリーズ (あきやま ただし)	ジーン・マルゾーロ (ミッケ!シリーズ)
	3	昔話 (日本昔話など)	アン・グットマン (ペネロペシリーズ)
小学生	1	かいけつゾロリシリーズ (原 ゆたか)	原 ゆたか (かいけつゾロリシリーズ等)
	2	ひみつシリーズ (学研)	杉山 亮 (めいたんていシリーズ等)
	3	怪談レストランシリーズ (松谷 みよ子等) めいたんていシリーズ (杉山 亮)	松谷 みよ子 (怪談レストラン等)
中学生	1	もし高校野球の女子マネージャーが ドラッカーの『マネジメント』を読んだら (岩崎 夏海)	山田 悠介 (親指探し等)
	2	告白 (湊 かなえ)	あさの あつこ (バッテリー等)
	3	IS<インフィニットストラトス> (弓弦 イズル) バッテリー (あさの あつこ) ハリーポッターシリーズ (J.K. ローリング)	岩崎 夏海 (もし高校野球の・・・) 東野 圭吾 (新参者等)
高校生	1	告白 (湊 かなえ) 心霊探偵八雲シリーズ (神永 学)	西尾 維新 (戯言シリーズ等)
	2	神様のカルテ (夏川 草介) 戯言シリーズ (西尾 維新)	有川 浩 (阪急電車等)
	3		湊 かなえ (告白)

7. 子どもの読書活動の推進についての自由意見(幼児、小学生低学年保護者)

幼児、小学生の保護者ともに読書の大切さを認識しているという意見が多いが、同時に忙しくなかなか子どもと読書する時間が取れないという意見が多かった。
そのような中<23が60読書運動>では読書を意識、実践するいいきっかけになっているようである。

(問) 子どもの読書活動の推進について、ご意見があれば自由に記入してください。(保護者対象)

【主な意見】

幼 児 (3～5歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい中、少しの時間でも読書に取組み、親子の絆を深めたい。 ・図書館では季節やおすすめの本を選びやすいように並べてくれており、助かっている。 ・自分が子どもの頃に読んだ本をたくさん読んでもらいたい。 ・図書館の絵本をもっと増やして欲しい。(特に新刊など) ・図書館に子どもたちがリラックスして本を読めるスペースがあればいいと思う。 ・おすすめの本情報、特に(職員さんや先生など)の生の声での情報が欲しい。 ・年齢にあわせて本を選ぶのが難しいです。本人に選ばすと絵が多いものばかりになる。
小学生 (1～3年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・<23が60読書活動>で、よりいっそう読書をするようになった。 ・学校全体で<23が60読書活動>に取組み、読むはげみになっている。 ・親が忙しく読書に取り組めない。(親の読書離れ) ・読書に興味のない子でも興味が持ちやすい本を教えて欲しい。 ・学校や地域の図書館を活用し、親子で楽しみながら読書をしている。 ・図書館や移動図書館がもっと身近になれば良いと思う。 ・勉強や習い事が増え、読書の時間がなかなかとれない。 ・伝記や昔からの名作コーナーが少なくなったように感じる。

(参考1)

「香川県子ども読書活動推進計画」の努力目標の達成状況

	項 目	20 年度	21 年度	22 年度	24 年度 (目標値)	備考
1	家で、読み聞かせ、または読書を週1回以上行っている子どもの割合	幼 児(3～5 歳) 90% 小学生(1～3 年) 77% 小学生(4～6 年) 63% 中学生(1～3 年) 42% 高校生(1～3 年) 24%	88% 80% 70% 40% 27%	85% 81% 70% 44% 28%	90% 85% 75% 55% 50%	県アンケート調査
2	公立図書館における定期的な読み聞かせ、おはなし会の実施率	90%	93%	93%	93%	県社会教育状況調査
3	「一斉の読書活動」を週1回以上実施している学校の割合	小学校 95% 中学校 74% 高等学校 53% 特別支援学校 83%	— — 51% 83%	96% 72% 56% 92%	100% 100% 80% 100%	文部科学省学校図書館の現状に関する調査
4	「学校図書館図書標準」を達成している学校の割合	小学校 62% 中学校 69%	— —	68% 69%	70% 70%	文部科学省学校図書館の現状に関する調査
5	読書ボランティア等の協力を得て読書活動をしている学校の割合	小学校 78%	—	79%	90%	文部科学省学校図書館の現状に関する調査

※項目3～5について、21年度文部科学省学校図書館の現状に関する調査は未実施。

項目3の高等学校、特別支援学校については、独自調査によるものである。

(参考2)

子どもの読書活動推進に向けた県教育委員会の主な取組

幼少期からの読書習慣の定着を図るための施策

○「こども読書まつり」の開催 (H12年度～)

4月23日～5月12日の「こどもの読書週間」に合わせて、おはなし会や人形劇などの行事を行い、多くの子どもたちに図書館や読書に親しんでもらう機会を提供する。

○家庭での優れた取組の奨励

「香川県子どもの読書活動＜23が60ファミリー賞＞」の実施 (H16年度～)

子どもが読書に積極的に親しむよう創意工夫した特色ある取組を行っている家庭を表彰し、その取組をホームページ等により県民に紹介することにより、子どもの読書活動についての関心と理解を深める。

○「親子読み聞かせ教室」の開催 (H20年度～)

幼稚園、保育所(園)の保護者(父親を含む)を対象に、読み聞かせのコツや効用等について学ぶ講座を開催し、読書の大切さを認識してもらい、家庭における読書習慣の定着を図る。

中・高校生の読書離れ対策

○学校での読書活動の推進

「一斉読書活動」の一層の普及を目指すとともに、推薦図書や必読書の選定、学校図書館を計画的に活用した教育活動の展開等、子どもの読書活動の確立に向けた取組をさらに推進する。

○県立図書館「ヤング ジェネレーション」コーナー設置 (H21.6.13)

従来の「ヤングアダルトコーナー」の名称を変更するとともに、中・高校生向けの本を約2,700冊から約3,200冊に増やし、本棚のスペースも2倍に拡大。また、展示スペースも設け、中・高校生が利用しやすい環境づくりに努めている。

共 通

○「^{にさん}23が^{ろくまる}60読書運動」の推進 (H15年度～)

家庭での読書習慣が定着するよう、4月23日の「子ども読書の日」にちなみ、毎月23日を含む週(日曜日から土曜日)を「^{にさん}23が^{ろくまる}60家庭読書週間」と位置づけ、子どもがいる家庭において、家族と一緒に、その1週間に合計60分以上を目標に読書活動に取り組む運動を推進している。

メッセージ

【保護者の方に】

子どもたちが豊かな心を育みながら成長するためには、読書はとても大きな手助けとなります。そのために、幼い頃から本に親しむことはとても重要です。ぜひ、読み聞かせなどを通じて、子どもが昔話や童話など心を育むお話に親しむ機会を作っていただきたいと思います。

さらに、家族一緒に読書をしたり読書をすすめたりするなど、子どもが本と仲良しになるような環境づくりに御配慮をお願いします。

【中学・高校生に】

良い本とたくさん出会うことは、人生を豊かにしてくれます。そのために、できるだけ多くの本に接し、1冊でも多くの感動できる本に出会ってほしいと思っています。

話題になった本や読みやすい本だけでなく、少し背伸びをして古今東西の古典、名著にも挑戦し、人生を深く豊かにして欲しいと思います。

香川県教育委員会事務局

生涯学習・文化財課長 炭井 宏秋